



## 1.はじめに

当センターのCOMEINS（沿岸気象海象情報提供システム）はパソコン端末のほか、携帯電話にも情報を提供しています。携帯電話には気象庁から気象の警報や津波情報等が発表された場合に電子メールでお知らせするとともに、Webで波浪予測情報や気象庁発表の気象海象情報等を提供しています。携帯電話に、より多くの情報を詳しく、見やすくご提供するため、情報提供システムを平成27年12月にリニューアルしました。本稿では、その概要をご紹介します。

## 2.携帯電話向けWebの充実

### (1) 新たな情報メニューの追加

従来のシステムではトップ画面のメニューの数が16項目でしたが、近年気象庁から発表される情報の種類が増加したことから、新システムでは沖合津波観測情報や雷ナウキャストなど8項目を新たな情報項目として加えました。また、遠地地震情報は従来、トップ画面のメニューの「その他地震火山津波情報」の中に入れていましたが、遠地津波が来襲する可能性を早期に把握するために重要な情報であることから、トップ画面のメニューに移しました。

### (2) 情報内容の充実

気象レーダーなどの画像をきめ細かく表示し、詳細な情報が見られるようにしました。台風情報は台風の進路にあたる区域を拡大して表示できるようにしました。地震情報は従来、震源のみを地図上に表示していましたが、各地の震度も地図上に表示できるようにするとともに、エリアごとに表示を拡大することができるようにしました。津波情報は、従来は文字のみの情報でしたが、地図画像を追加しました。気象の特別警報・警報・注

意報は市町村単位で表示するものとし、地図画像も追加しました。大雨や雷といった種別を特別警報は紫色、警報は赤、注意報は黄色の文字で色分けして表示するようにしました（下図）。

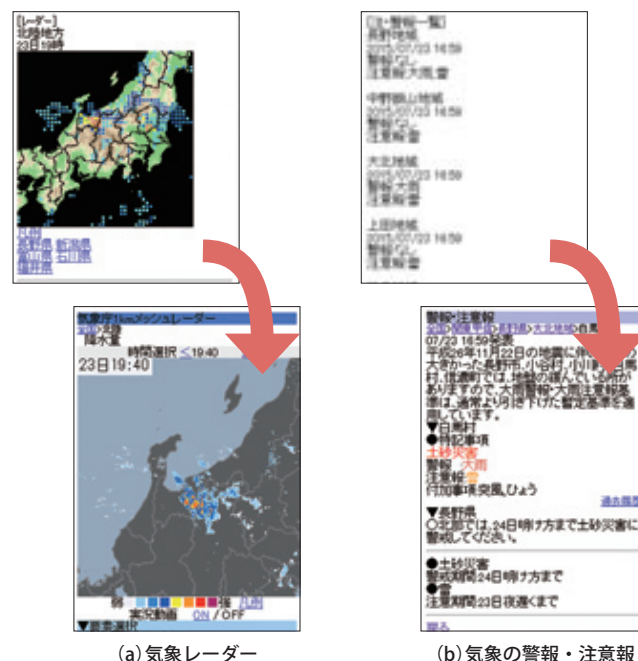


図 新旧のWebの情報画面

### (3) 履歴情報表示可能件数の増加

津波情報や地震情報等の過去の履歴について、表示可能な件数を増やしました。これにより、大きな地震の後に余震が多発した場合でも、従来と比べて本震の情報が履歴から消えにくくなりました。

### 3. メール通報機能の充実

メール通報が可能な情報項目数が、従来は気象の警報・注意報や遠地地震情報、津波情報、波浪ポイント予測情報等7項目でしたが、新システムでは更に沖合津波観測情報や海上警報、府県気象情報、竜巻注意情報などを加え、15項目に拡大しました。

### 4. 情報を安定して提供するための機能強化

システムで情報の処理が滞った場合に、オペレータに向けてシステムから自動的に電子メールが発信される仕組みを採り入れるなど、情報を安定して提供するための機能を強化しました。

### 5. おわりに

COMEINSに関連する様々な技術や気象庁から発表される情報は年々進歩しています。本稿ではこれらに対応してリニューアルした情報提供システムについてご紹介しました。今後も港湾工事等に役立つ気象海象情報を分かりやすく安定して提供できるよう、システムの改良を続けて参ります。